総合診療科 研修登録医プログラム

プログラム名：診断推論リスキリングコース・アドバンストコース

プログラムの概要

診断推論のスキルは外来、病棟、救急、在宅などあらゆる診療セッティングにおいて、診断のみならず、治療方針の検討、決定の他、あらゆる問題解決能力の基盤となるスキルです。リスキリングコースは総合診療領域以外の医療者やブランクがある方対象の、高頻度疾患を中心に基礎からの学習プログラムであり、アドバンストコースは専門研修プログラム修了者対象の、診断困難例への包括的統合アプローチの学習プログラムです。

対象

リスキリングコース：高頻度疾患を中心に診断推論を基礎から学びたい方

・総合診療以外の領域の医療者(医師、看護師、薬剤師等)

・出産、育児、介護等による診療ブランクがある方

アドバンストコース：診断困難例への包括的統合アプローチを学びたい方

・総合診療・総合内科専門研修プログラム修了者、またはそれに相当するジェネラリスト

・診断推論に係る研究を行いたい方

目標

リスキリングコース

１）総合診療外来の特徴を理解する。

２）高頻度疾患や稀だがシンプルな事例の鑑別診断および初期対応ができる。

３）高頻度疾患の稀なプレゼンテーションを認識できる。

アドバンストコース

１）ベイズの定理や行動科学など、診断推論の総論を概説できる。

２）非典型例や複雑事例など診断困難例の鑑別診断および初期対応ができる。

３）心理行動・社会的な問題を診断推論に組み込んだ患者マネジメントができる。

方略

１）期間：毎週１日程度の研修を任意期間（最小１ヶ月～１年間、追加研修可）

２）プログラム責任者：上原孝紀(講師、総合診療科科長代理)

３）指導医:上原孝紀、栁田育孝、山下志保、佐藤恵理、小島淳平、佐藤瑠璃香、岸本浩一郎（総合医療教育研修センター兼任)、李宇（リハビリテーション科兼任)、塚本知子（総合医療教育研修センター兼任)、 鋪野紀好（地域医療教育学兼任)、生坂政臣(名誉教授)

４）募集定員：年間２０名程度

研修内容

①臨床能力を高める症例検討カンファレンスへの参加（Microsoft　Teams による遠隔参加可)。病歴を中心として、身体診察や検査所見を病態生理と解剖で正しく理解し、自身の診療現場にフィードバックできる適切な考え方を身につけるための教育環境を構築している。

②総合診療科外来における外来診療研修（オプション）

③関連診療所における外来診療、在宅医療、および緩和ケア研修。予防医学、リハビリテーション、介護福祉施設、地域保健活動、IPE/IPW を経験する。

④Microsoft SharePoint を用いた自己学習コンテンツ配信システムによるオンデマンド学習（過去 カンファレンス録画映像の視聴）

⑤診断推論学におけるリサーチ（オプション）

上記①～⑤を学習者のニーズに合わせ、適宜、選択する（組合せも可)。

⑥研修登録医専用 Microsoft Teams を用いた症例相談

自身が経験した事例の相談を Microsoft Teams に投稿でき、１日以内に教授以下、教室員が回答してフィードバックを行う。

スケジュール

日時	研修項目	場所
月～金の１日程度	大学 or 診療所研修	総合診療科外来もしくは関連診療所
毎週火・木曜日	症例検討カンファレンス	総合診療科外来あるいは Microsoft Teams による遠隔参加。また火曜日は東千葉メディカルセンターあるいはさんむ医療センター合同カンファレンスも提供可。
最終日	試験、修了認定	カンファレンスルーム

評価

MEQ または MCQ（プレ・ポストテスト形式）

修了認定

評価基準を満たした者にコース修了証書を授与する。